

第3回 酒々井町学校施設のあり方検討会議 議事概要	
日 時	令和6年12月26日(木)14時30分から16時10分
場 所	酒々井町役場本庁舎3階 会議室
出席委員	10名
欠席委員	1名
事務局職員	酒々井町教育委員会こども課 職員3名
オブザーバー	企画財政課 職員3名
内 容	会議 (1)議事 【審議事項】 ① 単学級化を回避するための対応方策 ② 学校再編計画シミュレーション ③ 学校再編・整備等のロードマップ (2)その他

会議
(1)議事
【審議事項①】 単学級化を回避するための対応方策について
【審議事項②】 学校再編計画シミュレーション
<p>* 酒々井中、大室台小の跡地利用の可能性については、現在の用途地域(市街化調整区域)に縛られる必要はなく、地区計画等により土地利用の可能性はあるのではないかと。</p> <p>* 土砂災害警戒区域対応の工事等を含むと、コストも大きく変わってくる。(※現時点では、大規模な造成工事のコストは見込んでいない。)</p> <p>→3校ともに敷地に余裕があり、比較的建替え等も行いやすい。ただし、実際の配置を考えると、土地の高低差や安全対策に伴う造成等も出てくると思う。</p> <p>* この会議でどこまでを検討の対象とするか。跡地利用などは町全体の方向性にも関わる。</p> <p>→全てをこの会議で決めるのは時間的なものや会議の回数からも無理があると感じている。単学級化の解消と学校教育環境の充実の部分について議論頂きたい。(事務局)</p> <p>→全体を見て、現状維持は難しそうとか、他にもこのような課題があるなどについて、委員の皆さんにご発言頂きたい。(委員長)</p> <p>* いずれにしても【A案】は教育面やコスト面での課題があるのは明らかであり、【B案】のパターンで小学校を統合するのが現実的路線かと思う。</p> <p>* 通学距離や町全体のバランス等を考慮すると、【C-1案】が妥当か。</p> <p>→どの案においてもスクールバス対応の検討は必要かと思う。</p> <p>* 酒々井小は敷地に余裕があり、給食センターやプール、体育館跡地も含め、立地のポテンシャルは高いのでは。町の歴史的経緯も考えると、酒々井小に統合するのが理解を得られやすいのでは。</p> <p>* 小中が連携して一体的な教育を行うというのが時代の流れでもあり、教員不足への対応という部分でも小・中学校が近接するのは望ましい形かと思う。</p> <p>→子ども相互の交流もあるが、教員間の連携という意味でも効果が大きい。</p> <p>→小中一貫となれば教育の新しい在り方となるため、そこまで舵を切れるのかはしっかり考えていく必要がある。</p> <p>* 実際問題として【A案】は可能なのか。</p> <p>→今の試算だと一番コストが高くなるものであり、いくらまでだと可能とは言えないが、厳し</p>

いと言わざるを得ない。

→【A案】と【C案】でコスト面ではかなり大きな差があるのは確かである。ただ、財政的な論点だけでなく、単学級になる可能性が高いという点からも難しいのでは。

*一般的な保護者の「今のまま継続したい」という意見に対し、どう説得していくのが課題。

→少人数でも教育ができない訳ではなく、事例もある。地域拠点としての避難所機能が失われることによるデメリットも大きい。

*学校は安全な場所に建ててほしいというのが保護者目線での一番の希望である。

*例えば、総合公園の敷地に一貫校を建てるという大胆な発想もあり得るのでは。

*デメリットに対して考えられる解決策を提示すると良いのではないかと。

*建替え等において、町有地の取り込みや周辺私有地の買取りなど、敷地拡張の可能性についてもできれば触れておきたい。

*再編のシミュレーションについて、整備時期が前後すると何か問題が生じるか。

→モデル案として考える際、築年から何年経過時を目安に改修等を行うといった原則論に基づいて整理している。今後の使い方が見えている状況であれば、この時期が前後することはあり得る。

→建替えが決まっているのであれば、早く動かさないと危険な状況が続くことになり、リスクが生じる。

*将来的な再編がどうなるかは別に、現状施設の課題について正常化していくことは必要。

【審議事項③】 学校再編・整備等のロードマップ

*追加資料の事例では、事前に十分な話し合いが無かったとということに対して住民が「待った」をかけている状況である。表面的な情報だけで判断すると現状が良いという可能性があるため、現状や課題をしっかりと共有しながら合意形成を図っていくことが重要である。

→今年度、課題等の洗い出しがある程度できたと思うので、次年度以降、これらの情報を丁寧に説明しながら、どのあたりに住民の意識があるのかという部分を確認していきたい。
(事務局)

*特に未就学児を持つ保護者への説明が大事である。本町へ移住したいと考えている人に対して、広報やホームページ等で情報を周知することも大切である。

*どのように対話を進めていくのか、情報が先走ると舵取りが難しくなるため、早め早めの情報提供が必要な一方で、プロセスは慎重に進めていく必要がある。

(2)その他

*次回の検討会議は、2月中旬以降で調整させて頂きたい。